



CCDO デザインセミナー 2022

報告書



中部デザイン団体協議会
Council of Chubu Design Organizations

ごあいさつ



中部デザイン団体協議会
(CCDO) 会長

安藤 誠一郎

日頃より中部デザイン団体協議会（CCDO）の活動にご理解・ご協力をいただき、誠にありがとうございます。そして、この度のデザインセミナー 2022 にもご支援・ご協力をいただきましたことに重ねて御礼申し上げます。

私達の活動はデザイン団体のネットワークを起点として、デザイン業界と地域社会の活性化、社会に対するデザインの啓発など多岐にわたります。変化が激しい時代において抜本的な変革と新しいアイデアの創出にはデザイン力が欠かせません。「デザイン」とは問題解決のプロセスです。デザイナーは企業と経済の発展、社会問題の解決など、さまざまなカタチで「デザイン力」を発揮しますが、社会全体がデザインマインドを持つことで、専門家であるデザイナーの力が更に活かされます。それを実現するためには、問題意識とデザイン思考を共有・拡充することであり、人・コミュニティ・企業・団体・行政・地域などの連携や交流であると考えます。継続して開催しておりますデザインセミナー・ワークショップで企業の方々とデザイナーがデザイン思考の意識を共有することは、地域社会の発展に貢献できると信じております。本セミナーは新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けて 2020 年度は見送り、2021 年度はオンライン開催を余儀なくされました。今回 2 年ぶりにリアルで開催するにあたり、新しいものを生み出す基本的な考え方としての「デザイン思考」の理解を最重要事項としてプログラムを一新して開催致しました。

つきましては、今回の実施についてご報告申し上げますとともに、今後もより一層のご理解とお力添えをいただきますよう宜しくお願い申し上げます。



中部デザイン団体協議会
(CCDO) 事業委員会委員長

広瀬 達也

今回、(株)国際デザインセンター様との共催により「デザインセミナー 2022」を開催できましたこと、後援や協賛をいただいた各団体のご支援とご協力のおかげであり、深く感謝申し上げます。過去には名古屋商工会議所様との共催もあり、今回の「デザインセミナー 2022」で 11 回目の開催となりました。前回はオンラインでしたが、今回は新型コロナウイルス感染症の様子を見ながらではあるものの、リアルでの開催が叶いました。関係各位にはご理解を賜り、まことにありがとうございます。

デザインセミナー 2022 は、新型コロナウイルス感染症により世界が一変したことを受け、CCDO 事業委員会メンバーにおいても、改めて「デザインとは何か」についての議論がなされました。昨今は「デザイン経営」という言葉が世の中においても一般化しつつありますが、CCDO に所属するデザイナーたちにも、自らが捉える「デザイン」と、社会が捉える「デザイン」の相違を認識する必要があるという共通の思いがありました。事業委員会内でのディスカッションを経て、実行委員会を立ち上げ、担当者たちが何度も何度も打合せを繰り返して内容を詰めていきました。「名古屋を中心とした観光」というテーマについても、観光というのは狭すぎるのではないか、という意見がありました。誰もが自分事として捉えられ、かつテーマそのものよりも考え方や手法を学び、それを自社に持ち帰って活用できるように、ということ念頭に置いての設定でした。いま申しました通り、セミナーを経験することをゴールとするのではなく、自社で活用していただくことこそ本デザインセミナーの価値だと思っております。このセミナーをヒントに、より多くの成功が生まれることを願っております。

開催概要

開催趣旨	<p>「デザイン思考」による新しい発想へのアプローチ方法や、経営及び企画のプロセス改革、新たな商品開発、競争優位な事業の在り方など、さまざまな課題解決に向けた取り組みに資するセミナーを開催する。</p> <p>本セミナーは成功事例などを紹介する講演とデザイン思考を実践的に体験するワークショップ、ソリューションアイデアの抽出などを行うグループディスカッションで構成する。</p>
会期・構成	<p>第1回：2022年10月25日（火）18：30～20：30 セミナーのオリエンテーション、デザイン思考実践ワークショップ 講師：渡辺 俊生 [株式会社中部デザイン研究所 代表取締役]</p> <p>第2回：2022年11月1日（火）18：30～20：30 講演、グループディスカッション 講師：福永 祐三 [ブラザー工業株式会社]</p> <p>第3回：2022年11月8日（火）18：30～20：30 講演、グループディスカッション 講師：向井 真人 [株式会社くむ 代表取締役]</p> <p>第4回：2022年11月15日（火）18：30～20：30 講演、グループディスカッション、まとめ 講師：柴田 麻美 [株式会社愛知製作所 取締役社長]</p>
会場	ナディアパーク 国際デザインセンター 6F セミナールーム3
対象	経営者、企業・第二創業などの担当者、商品・サービスの企画・開発担当者、営業・マーケティング・接客担当者など
募集人員	20名 参加人数：12名
参加費	20,000円（全4回/税込）
広報	リーフレット配布、メールなどによる案内、各後援団体ウェブサイト、協賛団体への依頼ほか
主催	中部デザイン団体協議会（CCDO）
共催	株式会社国際デザインセンター
後援	愛知県、名古屋市、一般社団法人中部経済連合会、名古屋商工会議所、一般社団法人愛知広告協会、愛知県印刷工業組合
企画・運営	中部デザイン団体協議会（CCDO）事業委員会

CCDO デザインセミナー 2022 ▶▶▶▶

デザイン思考が 効くらしい。

ビジネスにおける
さまざまな問題の解決に、
デザイナーが自然と
取り入れている思考方法は
「デザイン思考」と言われている。
第一線で活躍するデザイナーが
参画するワークショップ形式の
このセミナーは、
ビジネスに活用できるよう
プログラム化。
この手法を持ち帰らない手はない。

第1回 10月25日 Tue
第2回 11月1日 Tue
第3回 11月8日 Tue
第4回 11月15日 Tue

●時間 / 18:30 ~ 20:30
●会場 / 国際デザインセンター 6F セミナールーム3 (ナディアパーク)

※新型コロナウイルス感染症の影響によりオンライン開催に変更する場合があります。

主催 / 中部デザイン団体協議会 (CCDO) 事業委員会
共催 / 株式会社国際デザインセンター
後援(予定) / 愛知県・名古屋市・一般社団法人中部経済連合会・名古屋商工会議所
一般社団法人愛知広告協会・愛知県印刷工業組合



セミナー概要

経営や企画・開発、新規事業などビジネスでデザインが必要だと感じているなら、このセミナーを是非ご受講ください。

中部デザイン団体協議会が 開催するワークショップ形式のセミナー

このセミナーは、中部エリアのデザイン10団体で構成される中部デザイン団体協議会が主催するものです。ビジネスにおいて、いかにデザインが有益かを啓蒙する目的で行われます。運営に関わるメンバーはプロダクトやインテリア、グラフィックなどさまざまな分野のデザイナー。ワークショップ形式で行われるこのセミナーで、あなたのビジネスにデザイン思考を生かしませんか。

第1回講演者 渡辺 俊生
株式会社中部デザイン研究所代表取締役、大学卒業後、松下電器産業(現パナソニック)にて炊飯器、ホームペッカーなど生活家電のデザインを手がける。独立後、文具、楽器、工具、健康・医療機器、家電などのヒット商品を企画出し続けている。国際的なデザインコンペティションの入賞多数。プロダクトデザイン選定・受賞7回。現在、高齢者の暮らしを助ける「私のミニ」など独自商品の事業化を進める。

第2回講演者 福永 祐三
1984年/ブリーダー工業(株)入社、ワープロ、プリンター、家庭用機能機担当。1990年/東京オフィスへ転勤、先行デザインや新機事業リサーチを中心に活動。1994年/アメリカオフィスへ転勤、ワープロや通信機などのデザインを担当。1998年/帰国後、プロダクトデザインやコミュニケーションデザインのマネジャーを経て、総合デザイン部長兼行。2020年に部長退任後、人事課へ異動、兼務改革業務に従事。

第3回講演者 向井 真人
株式会社むく代表取締役、システム開発会社は従来以上に積極的で、デザイン会社は機能性を深く理解しないままビジュアルを作る、そんなスキル不足に疑問を感じ、両方に長けた開発チームを作るべく2006年に起業。現在は、ビジネス戦線までしっかりしない限り開発に専念させないというスタンスで、新機ビジネス立ち上げ戦略に対し、コンサルティング、開発、運用支援を行う。「機能性は創造力が重要」と考えるエンジニア上りの経営者。

第4回講演者 柴田 麻美
株式会社東和製作所取締役社長。創業84年。燃焼ガス及びガス関連商品の販売メンテナンス、ガス配管工事等を中心に行っている企業の三代目。2006年3月同社社長。2015年より植物の生産・消費や資源循環に着目し、燃焼ガスの販売を強化。最近ではヘリウムガスを使用しないフッ素フリーバルーン事業を展開。2022年2月に専門ショップをオープン。

中部デザイン団体協議会構成団体

- 日本インテリアプランナー協会 中部
- 中部クリエイターズクラブ
- (一社) 中部広告制作協会
- 中部デザイン協会
- (公社) 日本インダストリアルデザイン協会
- (公社) 日本インテリアデザイナー協会
- (一社) 日本空間デザイン協会
- (公社) 日本グラフィックデザイン協会
- (公社) 日本サインデザイン協会
- (一社) 日本高環境デザイン協会



参加費	20,000円(全4回/税込) 申し込み受付後、参加料のお支払い期限・振込み先などをメールでご連絡いたします。お振込み確認後、参加確定とし、参加証をお送りします。 ●振込先/三菱UFJ銀行(金融機関コード0005) 名古屋営業部(店番150) 普通預金口座 1364458 中部デザイン団体協議会 会長 安藤誠一郎
お申込方法	CCDOホームページ「REGISTER-SSデザインセミナー」よりお申込ください。 https://www.ccdoinfo/registerSS/
お申込締切	10月18日(火)
お問合せ先	中部デザイン団体協議会(CCDO)事業委員会 E-mail: collabo@ccdo.info デザインに関する個別のご相談にもお応えしております collabo@ccdo.infoまでメールにてご相談内容をお送りください。

※ご記入いただいた情報は、当日の参加者名簿に記載するほか、本会からの各種連絡・情報提供のために利用することがあります。
※セミナー当日の様子は、記録及びホームページに掲載するため撮影させていただきます。掲載不可の方はお知らせください。
※新型コロナウイルス感染症の影響によりオンライン開催に変更する場合があります。



セミナー構成

第1回

10月25日
Tue

18:30~20:30

●ガイダンス(セミナーの主旨、構成、テーマ説明)

グループワークで学ぶ共感プロセス

相互インタビューで人を知る→他己紹介で共有化

ワークショップテーマ「仕事が楽しくなる職場環境」

事業紹介と相互理解

プチ成功体験で
全体イメージを
つかむ

第2回

11月1日
Tue

18:30~20:30

●講演会

グループワークで学ぶ問題定義プロセス

ワークショップテーマ「名古屋を中心とした観光」

- ディスカッションを通して現状洗出し
- 各自カードに記入し見える化
- グルーピングと抽象化 ●問題の定義

拡散+収束を
実践し慣れる

カード記入と
抽象化で
問題深掘り体験

第3回

11月8日
Tue

18:30~20:30

●講演会

グループワークで学ぶアイデア発想プロセス

ワークショップテーマ「名古屋を中心とした観光」

- ディスカッションを通してアイデア出し
- 各自カードに記入し見える化
- グルーピングと抽象化 ●アイデアをまとめる

見える化、客観化

カード記入と
抽象化で
アイデアの
広がりを体験

第4回

11月15日
Tue

18:30~20:30

●講演会

グループワークで学ぶ試作・テストプロセス

ワークショップテーマ「名古屋を中心とした観光」

- アイデア、キーワードを繋ぎストーリー化
- 名古屋観光を盛り上げる企画作り
- ワークショップ終了後にグループ発表

事業のあるべき
イメージ作り

ビジネスに
活かすストーリー

第1回セミナー内容（10月25日実施）

講演

【テーマ】顧客や市場に焦点をあてイノベーションを実現する課題発見、解決のプロセス

【講師】渡辺 俊生



はじめにデザイン思考の定義を以下とした。

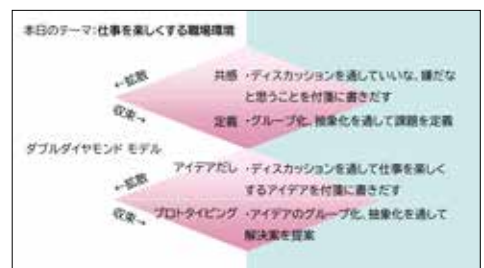
一顧客や市場に焦点をあてイノベーションを実現する課題発見、解決のプロセス

近年、日本の競争力の低下が著しい。ハードウェアの開発を重視する日本企業は、経済のサービス化、ソフト化に対応できずイノベーションが起きにくくなっている。デザイン思考は顧客やニーズに焦点をあて、商品やサービスのソフト面の価値創出につながる。本セミナーおよびグループワークはデザイン思考のプロセスである、共感→定義→アイデア出し→プロトタイプ→テストに沿って構成されている。

本プロセスによりアイデアの拡散→収束が繰り返され、アイデアを多く出し、新しい商品コンセプトを産み出すことが可能となる。これはダブルダイヤモンドモデルと言われ、アイデアを活性化する方法である。

第一回目のグループワークは「仕事を楽しくする職場環境」をテーマとして課題抽出、アイデア出しを体験してもらい、デザイン思考がどのように機能するか、大枠を理解して頂くことを目標にします。（二回目以降のテーマは「名古屋を中心とした観光」）最後に経営学者であるピーター・ドラッカーの言葉を引用して参加者が自ら商品を産み出す気持ちを高めてもらうことを意図した。

イノベーションとは簡単なルールに従って訓練を積む分野の一つだ。（中略）これらに天才は必要ではない。インスピレーションを待っていてもイノベーションは起こらないし、女神のキスを待っていても駄目だ。なぜならイノベーションもアントレプレナーシップも仕事だからだ。



ワークショップ

【テーマ】仕事变得楽しくなる職場環境 共感→問題定義→アイデア発想→試作

● A・B・Cの3グループに分かれてグループセッション。



第2回セミナー内容（11月1日実施）

講演 【テーマ】失敗と再挑戦

【講師】福永 祐三



メーカーの商品開発は失敗がつきものです。その失敗を次の商品開発に生かすことによって成長していきます。今回は「失敗からの再挑戦」を実際の事例をもとに紹介することにしました。「共感→問題定義→アイデア発想→試作→テスト」というデザイン思考のプロセスをたどりながら何が成否を分けたのかを紐解くやり方になっています。失敗事例は、ブラザーの黒歴史のひとつである世界初のパソコンソフト自動販売機「TAKERU」です。ネット回線に繋がった自動販売機から好きなソフトをその場でダウンロードするという1986年当時としては画期的なサービスでした。時代を先取りした凄いアイデアだと思い突き進みましたが、ソフトのラインナップや商品パッケージの貧弱さ、そしてダウンロードスピードの遅さなど、基本的なお客様への「共感」が不足しており、売り上げが伸びないまま撤退となりました。

この失敗を教訓に同じ技術を生かし業界初のISDN回線を利用した通信カラオケシステム「JOYSOUND」が誕生しました。技術やシステムを完成させることに満足するのではなく、お客様の共感を得ることを優先し、当初予定していた主たるターゲット層を切り替え、重要なコンテンツづくりにも注力しました。そして当初目標の年収100億へ成長し業界トップを達成しました。企業の失敗は次の事業基盤構築のチャンスです。デザイン思考の共感を常に優先し、課題定義を行い、思い切ったアイデア発想でまずは試作し、実際のユーザーでテストを繰り返してブラッシュアップしていきます。共感を突き詰める気持ちを忘れなければ遠回りしてでも「成功」が見えてくると信じています。

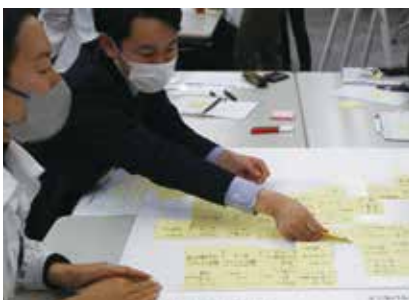


ワークショップ

【テーマ】

名古屋を中心とした観光 共感→問題定義

● A・B・Cの3グループに分かれてグループセッション。



第3回セミナー内容（11月8日実施）

講演

【テーマ】 アイデア発想

【講師】 向井 真人



アイデア発想は、簡単であり、難しいもの。単なる「思い付き」ではなく価値ある「企画」になりうるアイデアを出すのは難しい。

頭を柔らかくし、観点を養い、解釈を広げ、適切な制約下でのアイデア出し、このプロセスを解説します。プロセスを2段階に分けるとシンプルかつダイナミックなアイデア発想と、緻密かつクリエイティブな実現手法設計に分けられます。アイデア発想段階では、配布資料「希望的列挙法」を活用し、『本来の目的』を理解した上で『理想像』を挙げていくが、現実離れを恐れずダイナミックに考えることが大切。実現手法設計段階では、配布資料「抽象的思考法」「オズボーンのチェックリスト」を活用し、俯瞰して見たり、別の角度から見たり、観点を換えることでアイデアに現実味を与えていく。

現実味を与える中で、適切な制約下でのアイデア出しが有効になることから、自己評価手法として NUD、RWW を考えるとより具体化が進む。NUD とは、New(新規であるか)、Unique(唯一であるか)、Different(明確な差異があるか)。RWW とは、Real(実現可能性、市場が存在するのか)、Win(自己の組織で成功できるのか)、Worth-it(成功時に利益を得られるのか)。

講演後半では、自身のものづくり経験における失敗と転機にこれらのプロセスがどう関わったかを紹介し、ピボット(軸足を換えずに、向け先を変えることで新しい解を見出すこと)を繰り返すことがアイデア発想に大きく影響することを付け加えた。



ワークショップ

【テーマ】

名古屋を中心とした観光 アイデア発想

● A・B・C の3グループに分かれてグループセッション。



第4回セミナー内容（11月15日実施）

講演 【テーマ】株式会社愛知製作所の取り組み

【講師】柴田 麻美



皆様この度はセミナーで大変お世話になりました。
かつて生徒として参加させていただいた事のある「あのCCDOデザインセミナー」でまさか私のつたないお話をさせていただける未来が訪れるとは、生徒の時には思いもしない光栄な事でした。

最終日にそのお時間をいただきましたので、前3回の先生方のお話の内容やワークショップでの参加者の皆様の出されたイメージ内容をお聞きし、それらに相槌を打ちながら、自らの取り組みをちょっと紹介させていただいた感覚でした。気張らずに楽しんでしまう事も可能にさせていただけてありがたかったです。

デザイナーの皆様にとっても温かくご指導いただき良い経験をさせていただきありがとうございました。



ワークショップ 【テーマ】名古屋を中心とした観光 試作→発表

●A・B・Cの3グループに分かれてグループセッション。



A グループ

第1回目 「仕事を楽しくする職場環境」というテーマで共感→問題定義→アイデア発想→試作の流れを学ぶ。



第2回目 「名古屋を中心とした観光」というテーマで共感→問題定義→の流れを学ぶ。



第3回目 「名古屋を中心とした観光」というテーマでアイデア発想を学ぶ。



第4回目 「名古屋を中心とした観光」というテーマで試作を学び発表する。



ファシリテーターからひとこと (fc: 中野 泰徳、fc: 渡辺 俊生)

参加者は自動車部品メーカーのKさん、特殊素材を活かした新事業に携わるEさん、WEB制作会社のMさん、大学で進路指導に関わるTさんの4名。さまざまな視点からの意見が飛び交い、想像以上のシナジーを感じるディスカッションとなった。名古屋を中心とした観光について、ネガとポジ、どちらも多くの声で溢れたが、特に「名古屋らしさ」に秘められたネガティブなイメージと、そのさらに奥に潜む魅力について多くの意見が集中した。知られていない魅力を掘り起こし結びつけ「ごった煮名古屋」として独自のトーンで発信していく。今と昔、仮想空間と現実、名古屋らしくMIXされた提案は、第4回のグループ発表でも多くの支持をいただいた。年齢も職種も異なる人が集まり、1つのテーマで意見を出し合い議論を尽くす。参加者とファシリテーターをはじめとしたスタッフが共に高め合う姿勢に本セミナーの意義深さを感じた。アイデアの活性化はデザイン思考の主要なテーマの一つであり、参加者にその効果を実感してもらえたと思う。

B グループ

第1回目 「仕事を楽しくする職場環境」というテーマで共感→問題定義→アイデア発想→試作の流れを学ぶ。



第2回目 「名古屋を中心とした観光」というテーマで共感→問題定義→の流れを学ぶ。



第3回目 「名古屋を中心とした観光」というテーマでアイデア発想を学ぶ。



第4回目 「名古屋を中心とした観光」というテーマで試作を学び発表する。



ファシリテーターからひとこと (fc: 向井 真人)

第1回、最初はアイデアを出すこと自体恐る恐るだったが、打ち解けるにつれ「我が道を行く」アイデアがどんどん出せるようになっていった。「我を出す」ことがプラスに働くことに気付いたことも勢いに拍車をかけることにつながった。第2回、我が道を行く勢いでテーマを解釈したところ、ネガティブに振り切った考えが多く出たことに気付く。第3回は転機の回となったが、弱みを強みに変えるべく、ネガティブの裏返しから価値を見出し、その結果「VS (バーサス) ツアー」という企画にたどり着く。VS ツアーとは、対照性のある2つのテーマをツアーに仕立て上げることで、一方に参加したらもう一方もつい参加したくなるし、対である楽しさを知ることで、さらに他の対も試したくなる企画。第4回は、その盛り上がりを伝えるべく、4枚のパネル割りにこだわり、参加者の個性をふんだんに活かしたプレゼンで最後を締め括り、もし旅行会社に提案できる機会があるならもっと緻密に作り上げたいと思えるほど、メンバー全員で手応えを感じることができた。

C グループ

第1回目 「仕事を楽しくする職場環境」というテーマで共感→問題定義→アイデア発想→試作の流れを学ぶ。



第2回目 「名古屋を中心とした観光」というテーマで共感→問題定義→の流れを学ぶ。



第3回目 「名古屋を中心とした観光」というテーマでアイデア発想を学ぶ。



第4回目 「名古屋を中心とした観光」というテーマで試作を学び発表する。



ファシリテーターからひとこと

名古屋生まれ、名古屋育ち、名古屋在住の自分が思う名古屋像と、他府県や名古屋市外から来た人たちの考える名古屋像との違いが面白く、世代間の感性のズレよりも興味深かった。このセミナーの努力を市政・行政に反映させることが今後の課題である。(fc: 三浦 均)

関西地方から転校してきた私にとって、名古屋の文化は異質な物だった。特に味噌は異質すぎて受け入れがたかったのだが、今回のセミナーで皆さまとお話しするうちに少し愛おしくなった。文化的にも独特な歴史があり、最近は大河ドラマ「どうする家康」を楽しみながら視ている自分がある。これもセミナー効果かも。(fc: 昌子 衛)

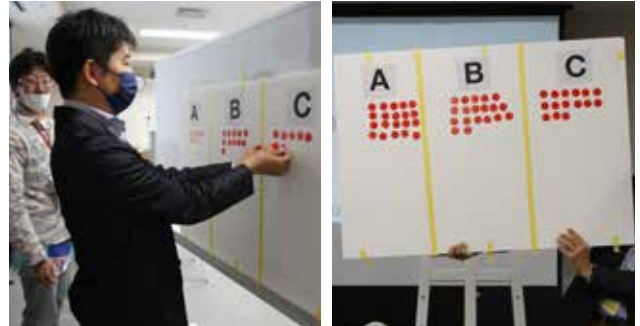
経営者、新入社員、フリーランス、学生、それぞれ性別や年齢、立場も異なる方々が、同列で1つの課題に取り組んでゆく姿にすっかり魅了された4日間だった。始めこそ不安でもあったが、真剣に時にユーモラスに進行するこの場に参加出来、感謝です。(fc: 金子 勝一)

成果と課題・アンケート結果

■成果、今後の課題

デザイン思考をテーマとしてセミナーを開催するようになって今回が5回目である。今回と過去4回との最大の相違点はアイデア出しのテーマ設定である。これまでアイデア出しは各参加者個別の課題を扱っていたが、今回は全グループ統一のテーマ「名古屋を中心とした観光」とした。この変更にともない、早い段階からセミナーの構成をプランするワーキンググループを設置し、手法の確立、体系化と演習、議論を交え試行錯誤した。

この結果、セミナーは体系化され、本番で各グループのアイデア出し、議論は白熱し、その熱気は最後の各グループのプレゼンテーションまで継続したと言える。セミナー後の参加者のアンケートにも「会社に持ち帰り従業員と試したいです。」「グループワークでのアイデア出しの進め方も参考になりました。」などの声があり大きな



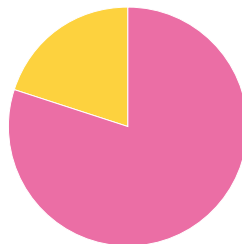
成果であった。

課題は参加者集めに尽きる。デザイン思考そのものは認知が広がりつつあると思われる。あらゆる業種に変化と革新が求められる経済環境の中、若い世代の経営者、マネージメント層へのアピールが求められる。

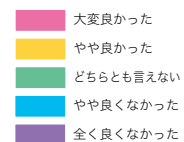
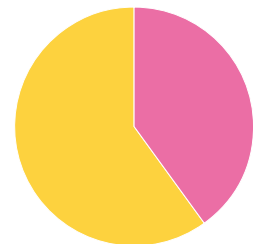
■アンケート結果報告

セミナー終了後に実施したアンケート調査の結果を示す。アンケート方法は5段階によるSD法で実施。回答者数14人中5名。

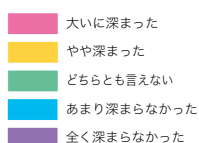
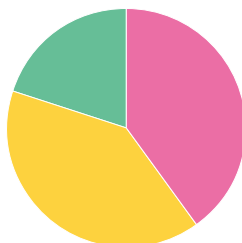
Q1. セミナーの満足度



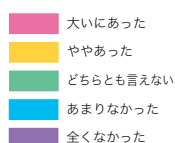
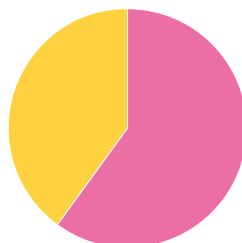
Q2. セミナーの回数と構成



Q3. デザイン思考についての理解



Q4. 今後の商品開発、経営に生かせる気づき



Q5. 参加者間でデザイナーとの交流の価値

